

2019 年度山荘祭兼除幕式 実施報告

山荘祭兼除幕式担当 29 代神保淳一

70 周年記念行事を推進している委員会の一つである社会奉仕委員会活動の一環として、長年に亘ってお世話になっている妙高市（旧妙高高原町）に対する感謝の気持ちを込めて、以下のとおり笹ヶ峰にて寄贈品贈呈・除幕式を行いました。

寄贈品目については、妙高市のご希望に添って、火打山登山道入口休憩所に登山道案内板、休憩所照明機器ならびに時計（高谷池ヒュッテ分を含む）を設置することとし、10 月 5 日（土）同休憩所において贈呈・除幕式を行いました。

1. 日時：10 月 5 日（土）11:00～11:45（終了後、懇親会ならびに清掃活動を実施）

2. 参加者：合計 61 名

・来賓等…入村明・妙高市長ほか市役所関係計 4 名、石井昌幸・早稲田大学競技スポーツセンター所長、岡本宏一・早稲田大学キャンパス企画部長ならびに川瀬由照部長ほか大学関係計 4 名

・招待客…山川理事長ほか笹ヶ峰ファン倶楽部計 8 名、白銀館竹田様、小池工芸社長
・WWV…OBOG21 名、現役 22 名、計 43 名

参加 OBOG（敬称略）：16 代伊東（除幕式不参加）、17 代川崎、18 代寺光、
19 代張、20 代吉越、22 代萩原、土屋、27 代三廻部、29 代神保、30 代川相、
32 代佐藤佳一、35 代渡辺、36 代越智直実、37 代井城、山村、38 代石川、
杉林、43 代向井、62 代大池、若林恵一郎、64 代尾形、吉村

当日は、杉野沢周辺は朝から雨模様でしたが、笹ヶ峰の除幕式会場は見事な晴天となり、登山道案内板の除幕、目録贈呈、来賓等祝辞、感謝状交付と式次第は順調に進み、最後は現役 22 名による「早稲田の栄光」が高らかに会場に響き渡りました。

その後、笹ヶ峰グリーンハウスにて懇親会が開催され、妙高市役所や笹ヶ峰ファン倶楽部のみなさまとの懇親を深めることができました。また、除幕式会場からの移動手段として、笹ヶ峰ファン倶楽部のみなさまから軽トラックをご提供いただき、現役が乗車させていただくハプニングもありました。

懇親会後は、山荘祭の一環として、笹ヶ峰ファン倶楽部のみなさまとともに、グリーンハウス周辺の清掃活動を行い、20 kgほどのゴミ収集の成果をあげました。

夜は白銀館にて OBOG、現役約 40 名による懇親会が開催され、現役一人一人から海外合宿に向けての意志表明や熱い意見交換等、ラグビーワールドカップの日本対サモア戦を応援しながら、大いに盛り上がりました。

除幕式には、信濃毎日新聞（43 代向井 OB）はじめ読売新聞、新潟日報の記者が取材に来られ、各紙に除幕式の記事が掲載されました。（信濃毎日新聞、読売新聞の記事については、早稲田スポーツミュージアムにて、11 月 7 日以降展示されることとなっております）

今回は妙高市への寄贈品贈呈という初めてのイベントでしたが、無事成功裏に終わり、記念式典に向けて大きな弾みとなる山荘祭兼除幕式となりました！